

2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月10日

上場会社名 株式会社リンコーコーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 9355 URL <https://www.rinko.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 本間 常徳
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 前山 英人 TEL 025-245-4112
 四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	6,535	△0.4	66	26.3	148	△29.4	238	△46.6
2023年3月期第2四半期	6,561	5.5	52	101.2	210	29.5	445	131.8

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 1,080百万円 (582.8%) 2023年3月期第2四半期 158百万円 (△72.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	88.29	—
2023年3月期第2四半期	165.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	38,472	17,045	44.3	6,318.87
2023年3月期	36,963	16,045	43.4	5,948.20

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 17,045百万円 2023年3月期 16,045百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	—	—	30.00	30.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,000	△3.3	150	△28.2	250	△41.6	300	△56.1	111.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

2024年3月期の業績予想につきましては、本日（2023年11月10日）公表しました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	2,700,000株	2023年3月期	2,700,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	2,440株	2023年3月期	2,440株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	2,697,560株	2023年3月期2Q	2,697,560株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

2023年4月1日から9月30日までの6ヶ月間（以下、当第2四半期）におけるわが国経済は、インバウンドの需要回復に後押しされ経済活動の正常化が一段と進んだものの、混迷が続くウクライナ情勢や、物価高、更に円安や金利上昇の影響などから、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の下、当社企業グループの事業拠点である新潟港全体の貨物取扱量は、前年同四半期比で減少しました。当社企業グループの主力である運輸部門の貨物取扱量は、コンテナ貨物の増加により、全体では前年同四半期比で微増となりましたが、減収減益となりました。ホテル事業部門につきましては、コロナ禍の影響から脱し、前年同四半期比で増収増益となりました。

この結果、当第2四半期の当社企業グループの売上高は65億3千5百万円（前年同四半期比0.4%の減収）、営業利益は6千6百万円（前年同四半期比26.3%の増益）となりました。また、経常利益は雇用調整助成金の受給がなくなったことから1億4千8百万円（前年同四半期比29.4%の減益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、土地の売却等で固定資産売却益1億4千4百万円を計上したことなどにより2億3千8百万円となりましたが、前年同四半期比で46.6%の減益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(運輸部門)

新潟港の貨物取扱量が前年同四半期比で減少した中、同部門の貨物取扱数量は、一般貨物は減少したものの、コンテナ貨物は増加し、前年同四半期比で1.9%増加の283万6千トンとなりました。

港湾運送事業については、主要貨物である素材原料の需要の減少や荷主の工場の定期修繕の長期化などにより荷動きが悪く、当社の取扱数量は減少しました。また、フォワーディング事業に関しても、海上コンテナ運賃の市況が落ち着き、海上運賃の水準が前年同四半期比で下降した影響から収入単価が下がったことなどにより、売上高は前年同四半期比で減収となりました。また利益面では、物価上昇に伴う下払費や人件費の増加などにより、前年同四半期比で減益となりました。この結果、同部門の売上高は48億3千2百万円（前年同四半期比6.3%の減収）、8千万円のセグメント損失（前年同四半期は3千万円のセグメント利益）となりました。

(不動産部門)

不動産賃貸の大口契約の減少などが影響し、売上高は1億1千5百万円（前年同四半期比12.8%の減収）、セグメント利益は5千7百万円（前年同四半期比11.4%の減益）となりました。

(ホテル事業部門)

今年の5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行し、社会経済活動の正常化が一段と進んだことなどを背景に、第1四半期に引き続き、ホテル需要は回復基調で推移しました。宿泊部門は、新潟市内の各種イベント等の効果などにより好調を維持し、宴会部門も法人利用の増加により収支は大きく改善いたしました。この結果、同部門の売上高は10億7千8百万円（前年同四半期比32.6%の増収）、セグメント利益は4千5百万円（前年同四半期は7千7百万円の損失）となりました。

(関連事業部門)

建設機械整備、木材リサイクル、商品販売が堅調に推移した結果、同部門の売上高は5億3千5百万円（前年同四半期比10.5%の増収）、セグメント利益は4千3百万円（前年同四半期比23.1%の増益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産の部は、前連結会計年度末と比べて15億9百万円増加し、384億7千2百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金の増加などにより流動資産が5億2千1百万円増加し、また、有形固定資産及び無形固定資産は減価償却など2億5百万円減少した一方で、投資有価証券が時価上昇等により11億7千9百万円増加したことなどにより、固定資産が9億8千4百万円増加したことによるものであります。

負債の部は、前連結会計年度末と比べて5億9百万円増加し、214億2千6百万円となりました。この主な要因は、リース債務を除く有利子負債残高が1億8千1百万円減少した一方、繰延税金負債が投資有価証券の時価上昇などにより3億1千2百万円増加したほか、賞与引当金なども増加したことによるものであります。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べて9億9千9百万円増加し、170億4千5百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金の増加1億5千7百万円、その他有価証券評価差額金の増加8億4千3百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結会計期間の当社企業グループの業績は、ホテル事業部門については、コロナ禍の影響から順調に回復している一方、運輸部門については一般貨物取扱数量の低調な推移などにより、前年同四半期比で減収減益となりました。

今後の見通しにつきましても、ホテル事業部門、運輸部門共に同様の状況で推移する見通しであることから、2023年5月11日に公表しました2024年3月期の通期連結業績予想を以下のとおり、下方修正いたしました。

詳細は、2023年11月10日公表の「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2024年3月期通期連結業績予想数値 (2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属 する当期純利益 (百万円)
前回発表予想 (A)	13,400	250	340	350
今回修正予想 (B)	13,000	150	250	300
増減額 (B - A)	△400	△100	△90	△50
増減率 (%)	△3.0	△40.0	△26.5	△14.3
(ご参考) 前期実績 (2023年3月期)	13,442	208	428	683

(注) 当該予測は現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は予想と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	743,956	1,344,627
受取手形、営業未収入金及び契約資産	3,023,173	2,909,512
電子記録債権	300,938	435,236
棚卸資産	141,802	147,958
未収還付法人税等	5,072	60
その他	259,167	165,000
貸倒引当金	△342	△7,095
流動資産合計	4,473,767	4,995,301
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	20,802,759	20,815,827
減価償却累計額	△14,597,726	△14,773,598
建物及び構築物 (純額)	6,205,032	6,042,229
機械装置及び運搬具	2,024,594	2,001,321
減価償却累計額	△1,790,770	△1,768,914
機械装置及び運搬具 (純額)	233,824	232,407
土地	21,809,589	21,808,337
リース資産	578,897	579,347
減価償却累計額	△268,252	△309,364
リース資産 (純額)	310,644	269,983
その他	1,017,853	1,031,500
減価償却累計額	△926,688	△926,199
その他 (純額)	91,164	105,300
有形固定資産合計	28,650,256	28,458,257
無形固定資産		
リース資産	75,083	64,612
その他	33,120	29,743
無形固定資産合計	108,204	94,355
投資その他の資産		
投資有価証券	3,363,065	4,542,123
繰延税金資産	102,913	111,415
その他	292,151	300,145
貸倒引当金	△35,411	△40,520
投資その他の資産合計	3,722,718	4,913,163
固定資産合計	32,481,179	33,465,776
繰延資産		
社債発行費	8,307	11,373
繰延資産合計	8,307	11,373
資産合計	36,963,254	38,472,451

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	1,422,695	1,441,326
電子記録債務	215,941	276,810
短期借入金	1,700,000	1,350,000
1年内償還予定の社債	180,000	280,000
1年内返済予定の長期借入金	2,534,502	2,601,209
リース債務	135,979	114,520
未払法人税等	99,538	62,490
賞与引当金	255,444	292,818
損害賠償引当金	19,551	21,859
その他	651,474	966,088
流動負債合計	7,215,127	7,407,122
固定負債		
社債	720,000	1,030,000
長期借入金	5,134,986	4,826,881
リース債務	277,539	242,017
繰延税金負債	1,628,072	1,940,460
再評価に係る繰延税金負債	4,640,986	4,640,986
退職給付に係る負債	856,234	904,034
資産除去債務	312,543	313,780
その他	132,140	121,643
固定負債合計	13,702,503	14,019,803
負債合計	20,917,630	21,426,925
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,950,000	1,950,000
資本剰余金	809,241	809,241
利益剰余金	2,501,307	2,658,544
自己株式	△7,108	△7,108
株主資本合計	5,253,439	5,410,676
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,202,675	2,046,434
土地再評価差額金	9,319,238	9,319,238
退職給付に係る調整累計額	270,270	269,177
その他の包括利益累計額合計	10,792,184	11,634,849
純資産合計	16,045,623	17,045,525
負債純資産合計	36,963,254	38,472,451

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	6,561,140	6,535,522
売上原価	5,879,154	5,810,512
売上総利益	681,986	725,009
販売費及び一般管理費	629,708	659,005
営業利益	52,277	66,003
営業外収益		
受取利息	55	59
受取配当金	115,940	116,643
助成金収入	81,065	—
雑収入	7,567	10,459
営業外収益合計	204,629	127,162
営業外費用		
支払利息	37,284	34,970
ゴルフ会員権貸倒引当金繰入額	—	225
雑支出	9,147	9,275
営業外費用合計	46,432	44,470
経常利益	210,473	148,696
特別利益		
固定資産売却益	3,431	144,179
関係会社株式売却益	288,790	—
特別利益合計	292,222	144,179
特別損失		
固定資産処分損	7,274	4,857
特別損失合計	7,274	4,857
税金等調整前四半期純利益	495,421	288,018
法人税、住民税及び事業税	108,048	78,071
法人税等調整額	△58,323	△28,217
法人税等合計	49,725	49,853
四半期純利益	445,696	238,164
親会社株主に帰属する四半期純利益	445,696	238,164

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	445,696	238,164
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△288,216	843,758
退職給付に係る調整額	806	△1,093
その他の包括利益合計	△287,410	842,664
四半期包括利益	158,286	1,080,829
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	158,286	1,080,829

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結財務諸表計上額 (注) 2
	運輸部門	不動産部門	ホテル事業 部門	関連事業部門			
売上高							
運輸事業	4,851,690	—	—	—	4,851,690	—	4,851,690
不動産業	—	8,099	—	—	8,099	—	8,099
機械整備販売業	—	—	—	249,653	249,653	—	249,653
ホテル業	—	—	811,473	—	811,473	—	811,473
その他附帯事業	280,032	—	—	167,352	447,384	—	447,384
その他	—	—	—	52,073	52,073	—	52,073
顧客との契約から生じる収益	5,131,722	8,099	811,473	469,079	6,420,375	—	6,420,375
その他の収益	22,312	118,452	—	—	140,764	—	140,764
外部顧客への売上高	5,154,035	126,552	811,473	469,079	6,561,140	—	6,561,140
セグメント間の内部売上高又は振替高	580	5,886	2,350	15,407	24,224	△24,224	—
計	5,154,615	132,438	813,824	484,487	6,585,364	△24,224	6,561,140
セグメント利益又は損失(△)	30,265	64,688	△77,922	35,363	52,395	△118	52,277

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△118千円は、その他の調整額であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結財 務諸表計上額 (注) 2
	運輸部門	不動産部門	ホテル事業 部門	関連事業部門			
売上高							
運輸事業	4,482,225	—	—	—	4,482,225	—	4,482,225
不動産業	—	120	—	—	120	—	120
機械整備販売業	—	—	—	288,690	288,690	—	288,690
ホテル業	—	—	1,073,957	—	1,073,957	—	1,073,957
その他附帯事業	327,129	—	—	174,305	501,434	—	501,434
その他	—	—	—	54,953	54,953	—	54,953
顧客との契約か ら生じる収益	4,809,354	120	1,073,957	517,949	6,401,382	—	6,401,382
その他の収益	22,319	111,819	—	—	134,139	—	134,139
外部顧客への売 上高	4,831,674	111,940	1,073,957	517,949	6,535,522	—	6,535,522
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	469	3,567	5,016	17,310	26,362	△26,362	—
計	4,832,143	115,507	1,078,974	535,259	6,561,884	△26,362	6,535,522
セグメント利益又 は損失 (△)	△80,457	57,288	45,148	43,515	65,494	509	66,003

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額509千円は、その他の調整額であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。